

## 制度名：GX分野のディープテック・スタートアップに対する 実用化研究開発・量産化実証支援事業

作成：2024年2月

### 制度の目的

別途実施している「ディープテック・スタートアップ支援基金／ディープテック・スタートアップ支援事業」における制度趣旨・実施内容も踏まえ、長期的視野をもって、事業化に向けた幅広い研究開発活動の支援をすることによって、GX分野におけるディープテック・スタートアップに対する民間からの投資の拡大を促しつつ、ディープテック・スタートアップの事業成長及びそれらが有する革新的な技術の確立・事業化・社会実装を加速させる。

### 制度の規模

- ・事業費総額：2,000億円の内数（予定）
- ・NEDO予算総額：2,000億円の内数（予定）
- ・実施期間：2024～2032年度（9年間）

### 制度の内容

技術の確立や事業化・社会実装までに長期の研究開発と大規模な資金を要し、リスクは高いものの国や世界全体で対処すべき経済社会課題（カーボンニュートラル、資源循環、経済安全保障等）の解決にも資すると考えられる革新的な技術の研究開発に取り組んでいる「ディープテック・スタートアップ」に対し、①STSフェーズ（実用化研究開発（前期））、②PCAフェーズ（実用化研究開発（後期））、③DMPフェーズ（量産化実証）の3つのフェーズにおいて、研究開発や事業化のための支援を行う。各フェーズでの事業実施後、ステージゲート審査により、継続可能と判断された場合には、次のフェーズで事業を継続して実施することを可能とする。

### 事業スキーム図

